

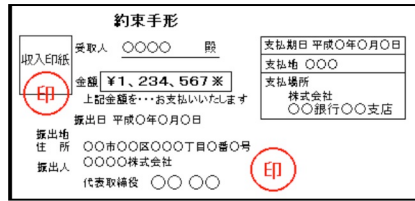
## 20 戦後恐慌から金融恐慌へ

欧州経済の第一次世界大戦からの復興→アジア市場における国際競争の復活 →1919年日本の貿易が( **輸入超過** )→( **1920** )年の株価大暴落→( **戦後恐慌** )というのが理解のポイント。このとき発生する回収不能の債権【 **不良債権** 】が、震災恐慌の不良債権に潜り込んだ。

### 震災恐慌

1923年の関東大震災により、東京や京浜工業地帯の企業が大打撃。結果、銀行が割り引いていた手形が現金化できず、不良債権化した【震災手形と呼ばれる】。震災の翌日発足した第2次( **山本権兵衛** )内閣は1カ月の( **モラトリアム** )を実施し、同時に( **震災手形割引損失補償令** )に基づいて、日本銀行の銀行に対する(4億3082万)円の特別融資を実施させた。これが金融恐慌の引き金となっていく

約束手形とは、将来のある時点での支払いを約束した文書のことをいいます。  
「今からXヶ月後の○月△日に□□万円支払います。」という約い。約束手形は、主に **支払いを引延ばす手段** として使われます。



欧州経済の第一次大戦からの復興→アジア市場における国際競争の復活→1919年日本の貿易が **輸入超過** →1920年株価大暴落=戦後恐慌 という流れが理解のポイント。

**若槻礼次郎** 内閣 ( **憲政会** )  
与党が過半数に満たない弱体内閣

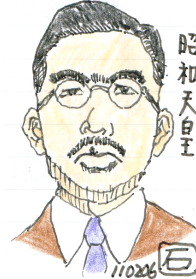
1926.12 大正天皇崩御し昭和に改元、裕仁親王 (= **昭和天皇** ) が即位する。  
1927.3 戦後恐慌や関東大震災がきっかけで生じた大量の不良債権が、個人経営同然の中小銀行が多かった金融界に重くのしかかっていた。 **震災手形** の処理から銀行・会社の倒産が相次ぐ中、蔵相 **片岡直温** (東京渡辺銀行が倒産しました) の失言から **取付け騒ぎ** が起こり、これをきっかけに **金融恐慌** が起こる。【大臣や銀行の名前がよく出る】昭和恐慌の発生である。

**台湾銀行** をどうする？主要な融資先→ **鈴木商店** があった。【倒産】

植民地台湾において兌換銀行券を発行する中央銀行の役割を果たしていた台湾銀行を救済するため、若槻 I 内閣は **緊急勅令** を使って日本銀行に特別融資を行わせようとした。ところが、枢密院では、「現内閣ハ一銀行(台湾銀行)一商店(鈴木商店)ノ救済ニ熱心ナルモ、支那(中国)方面ノ我が居留民及対支貿易ニ付テハ何等施ス所ナク……支那ニ在



留スル数万ノ同胞ニ対シテハ殆ド顧ル所ナシ。」(by **伊東巳代治**)【政友会に近い】などの反対意見が出て否決されてしまったため、内閣は総辞職するに至る。  
第一次若槻内閣の緊急勅令案を否決したのは ( **協調外交** ) に対する不満からであった。当時の中国情勢はどうだったろうか。中国では **蒋介石** による **北伐** が進展しており、中国に ( **在華紡** ) を設立している綿業資本を中心に、財界が協調外交を軟弱外交と非難し、 **宇垣一成** 陸軍大臣も若槻首相に積極政策を説き、立憲政友会も協調外交を非難し始めた。



この金融恐慌のあと、中小銀行はつぶれ、これ以降預金は三井・三菱・住友・安田・第一の五大銀行に集中し、大銀行が大企業と結んで **財閥** が支配力を強化するとともに、 **金融資本** が確立することになった。→若槻退陣(憲政会への支持は失われたと見た。しかし選挙以外の手段【政治的駆け引き】で内閣が変わったのである)。

当時、中国で **北伐** が進展し、それにもなって反帝国主義運動が高まるなか、三井や **政友会** などから **憲政会内閣** の **幣原外交に対する不満** が強くなっており、枢密院は **対中国強硬外交への転換を期待して** 倒閣へと動いたのである。



### 協調外交

協調外交は、もともと立憲政友会がすすめたものであったが、護憲三派内閣以降、外務大臣幣原喜重郎を中心に ( **憲政会** ) → ( **立憲民政党** ) が推進した。一方、立憲政友会は田中義一陸軍大将が総裁になると、三派の一角 ( **革新倶楽部** ) を吸収し【これにより護憲三派は解消され第2次加藤高明内閣=憲政会単独内閣となった】、軍部と接近して積極外交を主張するようになっていく。

2 **田中義一** 内閣 ( **立憲政友会** ) (外務大臣を兼務)【長州・陸軍】

1927.5 蔵相 **高橋是清** が ( **3** ) 週間のモラトリアムを発令、日本銀行も融資し、金融恐慌を乗り切る。全国の銀行を ( **2** ) 日間休業させ、また、裏面を印刷していない高額紙幣=【 **裏白** 紙幣と呼ばれる】(200円札を750万枚)を大量印刷し、資金を市場に供給した。こうした対策の結果、取り付け騒ぎはおさまった。

### 五大銀行

金融恐慌で、中小の銀行が整理・合併が進み、預金は大銀行に集中し、→( **三井・住友・三菱・安田・第一** )の五大銀行が支配的な地位を占めた。三井と立憲政友会の繋がりは有名である。

### 金輸出再禁止と解禁

金本位制の下では、対外収支の決済は金の現送によって行われるから、その流出を抑えようとすれば財政金融政策の主流は健全財政主義になる。しかし、第一次世界大戦による膨大な戦費の必要から、交戦国は金本位制の廃止を余儀なくされた。日本も1917年に金本位制を離脱した。同じ年に何があったかが出た。( **ロシア革命** ) ( **石井・ランシング協定** ) で

ある。大戦後、経済が安定する中で、1920年代半ばまでに欧米の国々は次々と金輸出を解禁した。しかし、(戦後恐慌) → (震災恐慌) → (金融恐慌) と続いた日本は容易に金輸出解禁ができなかった。

### 労働農民党

1926年結成。1925年結成の労働農民党が、日本共産党との関係から即日禁止となったため、共産党系を除外して組織されたが、やはり共産党系の影響力が強まった。そこで、議会主義・国民党路線をとる右派(社会民衆党)と労働党と社会民衆党の中間派である左派(日本労働党)に分裂し、無産政党は3党になった。

### 第1回普通選挙

1928年実施。無産政党で(8)名の当選者を出したことが早稲田政経で出た。選挙のなかで日本共産党が公然と活動し、田中義一内閣に衝撃を与えた。そこで次となる。

### 三・一五事件

1928年、田中義一内閣は、共産党員の一斉検挙を実施し、(日本労働組合評議会)等を関係団体として解散させた。また、治安維持法を(緊急勅令)によって改正、最高刑を(死刑)または(無期)としたことが早稲田教育で出た。国民の権利にかかわるこの重大な改正を、議会を通さずに行ったのである。国体変革を目的とした結社の加入者しか取り締まられなかったのが、国体変革を目的とする行為に参加した者にも拡大し、実際は共感しただけで検挙されたのである。治安維持法改正に(山本宣治)議員が反対し、右翼に殺害されたことも出た。

1927.5 → 蒋介石 率いる中国国民革命軍の北伐(=中国北方軍閥張作霖の討伐)開始。国民革命軍が各地に割拠する軍閥を打倒・統合し、軍閥による北京政府を打倒することをめざす内戦だ。こうした状況を受け内閣は→山東出兵を行なう。名目上は在留日本人の生命・財産の保護だが、実際は中国革命軍の圧殺と満州の侵略である。三次にわたり出兵。



軍閥 張作霖

また、第1次山東出兵中に東京で中国関係に携わる外交官・軍人を集めて(東方会議)を開催、「対支政策綱領」を決定した。

1928.5 \* 済南事件起こる。

→済南で山東出兵中の日本軍が北伐軍と衝突する。その後北伐軍が北京に迫る。北京には日本の支援を得つつ満州地域を統治していた張作霖政権が勢力拡大を目指し北京進出。

1928.6 関東軍参謀河本大作らの謀略により、中国軍閥の巨頭張作霖が、奉天郊外で爆殺された\*満州某重大事件が起こる(当時真相が隠されたので)。

### ↳満州某重大事件の真相

張作霖が北伐軍におされて満州へ帰還した際、関東軍は奉天郊外で張の列車を爆破して殺害した。関東軍は満蒙の対ソ防衛拠点をめざし、現地勢力の拘束から自由な北満州進出を企図しており、張作霖爆殺を契機として満州を占領しようとしたが、関東軍出動の機会はずれなかった。事件後、張作霖の後継者張学良が国民政府に合流したため、北伐は完了した。この事件は、関東軍(天皇に直属)が内閣や陸軍中央のコントロールから離れ、無断で謀略的行動に走った点、軍閥に依存せずに北満州進出をはかろうとした点で、満州事変の先がけであった。

なお、事件の処理をめぐっては、田中首相が陸軍の抵抗などにより真相公表・責任者処罰を行なえなかったため、昭和天皇から不興をかい、内閣総辞職に追い込まれた。

### 三史料研究 官報

第一条 国体ヲ変革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタルモノ、又ハ結社ノ役員其の他指導者タル任務ニ従事シタル者ハ、死刑又は無期若ハ五年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ処シテ知リテ結社ニ加入シタル者、又ハ結社ノ目的遂行ノ為ニスル行為ヲナシタル者ハ、二年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ処ス.....

1928.7 全国に特別高等警察(特高)が設置される。

1910年大逆事件後の1911年に主要府県に設置されていたものを拡充

1928.8 ㊦ 不戦条約が結ばれる。

→パリで仏・米・英・独・日など15カ国が参加し、戦争放棄を約す。仏外相ブリアンの提案を米國務長官ケロッグが条約化。日本全権は内田康哉。

### ↳統帥権干犯

これにより戦争が国際法上の違法行為とされ(自衛のための戦争は除外)、戦争再発の防止にむけた国際協調体制がさらに整っていった。→この調印が統帥権干犯問題をもちたらず。

1929.4 \* 四・一六事件起こる。

共産党検挙事件。共産党幹部鍋山貞親・佐野学らが検挙される。2人は獄中にて転向。

1929.6 日本、中国国民政府を正式承認。

### 張作霖に華北の放棄を迫る



Pain is inevitable Suffering is optional

1929.7 田中義一首相、天皇に叱責され辞任。